

カトレア

2010 Autumn

82

平成22年

Cattleya

川内市民病院／院内広報部

CONTENTS

特集Ⅰ 地域医療連携相談室
特集Ⅱ レストラン「カトレア」

看護部だより／新人紹介
「パワハラ・セクハラ」

NEWS

第10回身体に優しい健康レシピ
リレーエッセイ

基本理念

私たちは、信頼される地域医療支援病院として、医療を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、信頼される高次救急医療の確立を目指します。
2. 職員が互いに尊重しあう職場作りをめざし、チーム医療の充実に努めます。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 自分の病気について納得するまで十分な説明を受け、その上で検査や治療を選択するとともにその医療機関を決定する権利があります。
3. 個人の情報は保護される権利があります。
4. 自分の診療について知る権利があります。

平成22年9月9日 集団救急事故訓練

特集Ⅰ

地域医療連携室

連携業務と相談業務の連動で地域の医療機関との連携を推進していきます

連携業務

- 紹介患者の入退院 ● 受診報告書・登録・データ管理 ● 地域連携パス
- 行政、サービス事業所からの問い合わせ窓口
- 在宅療養支援診療所の緊急時、入院に関する届出窓口

相談業務

- 病気療養中の治療費や生活費などの経済的な問題 ● 患者同士や職員・地域との関係調整
- 病気療養上の不安や悩み相談 ● 入院・転院に関する相談



地域医療連携室のこれから

地域医療機関と緊密な連携をし、

患者さんへ最適な医療を提供するために

■ 地域医療連携室とは

4月に回復リハビリ病棟師長から地域医療連携室室長に異動になり、村山主任、本山、末野、川畑の4人の相談員（社会福祉士）と新任の田中（心理士）、今村・丸内（事務担当）の新体制8人でスタートしています。

当院は地域医療支援病院として、地域の医療機関から専門的治療が必要な患者が紹介され、急性期の治療後は紹介医へ逆紹介することが求められています。

院内では、平均在院日数14～15

日、7対1看護、HCU加算、休

日リハビリテーション提供加算、

回復リハビリ病棟の施設基準の変

更などの新たな取り組みを開始し

ました。紹介患者さんは川薩地域

のみならず、いちき串木野市、薩

摩郡、出水市郡と拡大しているの

が現状です。また患者さんは高齢、

独居、老々世帯、認知症、生活状

況不安定などの問題や、入院を

繰り返し治療されるがん患者さん

も増え、多方面からの支援が必要

となっています。限りある資源を

有効に活用し、適切な医療を提供

する体制を維持するためには、地

域の医療機関との連携が不可欠で

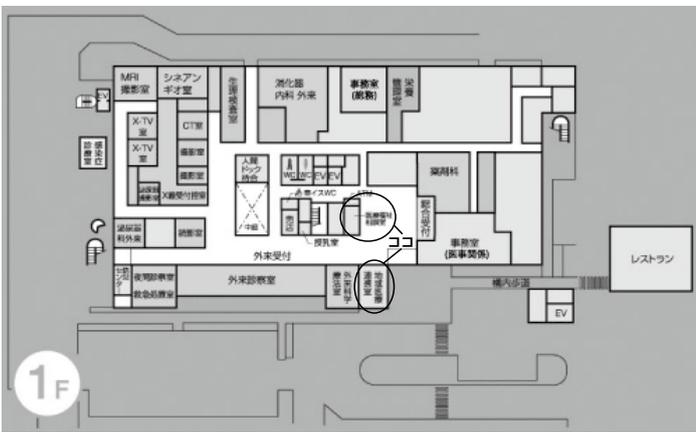
す。連携を充実させるためには、

各医療機関へ当院の現状について

さまざまな情報を発信し理解して

いただくことが必要と思っています。





地域医療連携室室長
井 砂都美

■ 地域医療連携室の課題と課題への取り組み

① 地域医療機関との連携体制の強化

② 紹介患者の柔軟な受け入れ体制のシステム化

患者紹介、受診・入転院に関する相談、院内外の連携に關することについては連携室が必ず窓口になり、また患者情報の遅滞ない提供と、逆紹介の推進を行う。

③ 院内外への情報発信

当院の情報を院外へ、また院外の地域医療機関等の情報が院内で共有できるようなシステムを検討する。

④ 地域医療機関等とのネットワーク構築

外部機関との顔の見える連携を心がけ、医療、看護、介護、行政など様々な連携のネットワークを作り、それを院内の連携に継続していく。

⑤ 退院支援・退院調整を円滑にするための院内システム化

退院支援・調整は相談員が中心に実施し、連携室看護師が退院調整看護師として各相談員、病棟看護師等と協力する体制を構築する。

特に医療的なケア、介護が必要な状態での退院支援、調整は今後ますます増加すると考えられ、切れ目のないサービスを受けられるマネジメントを行っていく。

⑥ 院内の全体ベッドコントロールのシステム化

入院が必要な患者を受け入れ、退院調整をスムーズにするために、連携室看護師が院内全体のベッドコントロールを行うためのシステム化を行う。

■ 最後に

これまでの連携室の役割を振り返り、何が求められているか考えてみました。

地域連携は病病連携・病診連携の前方連携中心から、適切な退院調整による療養環境継続重視へ、そして今後は地域性を踏まえた医療・介護・在宅機関同士のネットワークの時代へ変遷していると言われています。地域全体をつないだり良い医療が提供できるように、今後も努力して行きたいと思えます。

1階総合受付近く、自動販売機裏の「地域医療連携室」へ、いつでも声をかけてください。



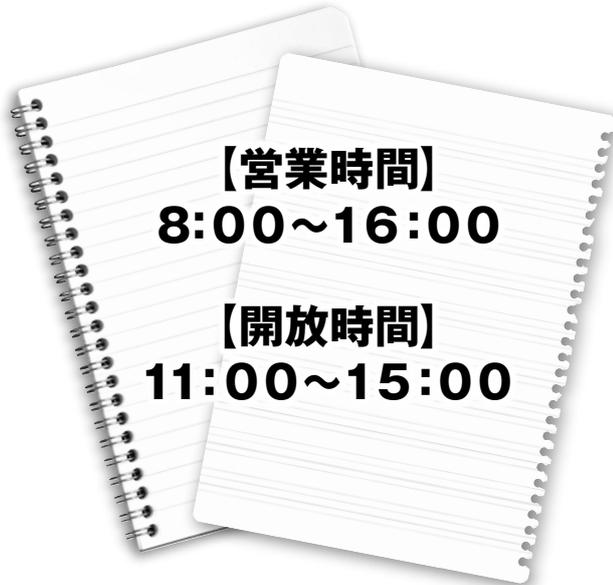
特集Ⅱ

Cattleya

レストラン カトレア

SINCE 2003

■ レストラン「カトレア」は私ども日清医療食品にて営業させて頂いております



STAFF 職員紹介



明るい店内では、5名の元気なスタッフが、毎日患者さんやそのご家族様、職員のみなさまのご来店をお待ちしております。あたりまえですが、安心・安全をモットーに温かい料理はあたたかく、冷たい料理はつめたく、みなさんにご満足いただけるよう真心込めて調理しております。

厨房スタッフ

上段左より 有川さん 堀之内さん 宝満さん
下段左より 新留さん 有西さん

MENU 献立



メニュー

- 日替定食 500円
- A定食 (からあげ) 600円
- B定食 (とんかつ) 600円
- C定食 (ハンバーグ) 600円
- D定食 (ミックスフライ) 600円
- カレー (サラダ付) 500円
- カツカレー (サラダ付) 600円
- うどん・そば 400円
- おにぎり (2個) 120円
- パンケーキセット 300円
- 職員用お弁当 500円
- ちゃんぽん 500円
- ライス 100円
- コーヒー 100円

人気メニュー1位は日替定食でリーズナブルでありながら、飽きさせない多彩な献立とボリュームに注文が多く売り切れになってしまう日があります…すみません。もし日替定食が売り切れになってしまったら他定食メニューを日替定食と同額にて提供させて頂いております。ご飯もセルフですので、若い職員さんは、まるでまんがのようなおわんに山盛りで食べておられます(笑)。また、ちゃんぽんも人気で、毎日ちゃんぽんを注文される方も少なくありません。食後には、全メニューにコーヒーがついております。

また、11月から院内託児所「ちゅうりっぷ園」の園児たちの昼食を担当する事になりました。園児たちの好む献立だけでなく“食育”を考えメニューをつくります。お誕生会の際は特別メニューで…。これからも、会議の際のお弁当などいろいろとお手伝いさせていただきます。

案内図



最後に

皆様からのご意見を参考に、さらにご満足いただける食事サービスを考えております。リクエストやお気づきの点がございましたら係までお申し付けください。ご要望にこたえられるよう、皆様笑顔で帰って頂けるよう、スタッフ全員で頑張ります。

日本緩和医療学会へ参加して

～看護部だより「ひまわり」Vol 8より～

15年前、私は癌患者の家族として3階東病棟へ来ました。私が癌と向き合うきっかけとなったこの病棟で今働いています。緩和ケアチームの一員として、今回学会へ参加させて頂きました。学会は場面を想定したディスカッションや症例検討、緩和チームの取り組み、患者家族の苦しみに対する調査などがあり患者本人だけではなく、家族も精神面はもちろん様々な問題に直面しなければいけない、患者の一人なのだという事を考えさせられました。

当院でも5月から病棟緩和カンファレンスが行われています。他職種との情報交換を行い得られたものを、患者

への看護につなげようとしています。その結果情報の共有ができ方向性が明確になった、疼痛コントロールに生かされた、深く考えるきっかけになったなどの意見も聞かれています。家族として何もしてあげられなかった後悔ばかりが残り、まだ答えも出ないまま、患者との関わりでも悩み、無力感を感じながらの日々ですが、患者を思う気持ちを大切に、また病棟カンファレンスを通してスタッフの気持ちが一人一人の患者、そして家族へ向けられる時間が、少しでも増えていければと思います。

3階東病棟 看護師 松若 元子



新村 正蔵

麻酔科 医師
趣味：折紙、あやとり、プログラミング

坂野先生の後任として、平成 22 年 7 月 1 日付けで麻酔科に赴任してきました。平成 7 年に鹿児島大学を卒業し、同年同大学の麻酔科に入局し、臨床麻酔を専門にしてきました。以前勤めていた鹿児島市立病院は、定期手術症例が非常に多い上に、緊急手術も頻繁にあったので、常に手術や麻酔に追い回されているような感覚で日々を過ごしていました。そのため多種多様な手術の麻酔をすることができたので、いい経験になったと思っています。こちらの病院でも、これまでの経験を生かして、がんばって仕事をバリバリしていければと思っはいるのですが、最近年齢のせい体力の衰えを感じることも多く、体力作りを真剣に考えているところです。何かよい方法をご存知の方はぜひ教えてください。まだまだ不慣れな点も多く、他科の先生方や手術室のスタッフのみなさんにはいろいろとご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後ともよろしくお願ひ致します。

「新人さん」いらっしゃ〜い

7月～9月までに私達の仲間となったスタッフをご紹介します。どうぞよろしくお願ひします。



上原 真美

事務部委託
医事外来

7月から勤務することとなりました「カンパル」です。不慣れなことばかりで、ご迷惑をおかけすると思いますが一生懸命頑張りますので、ご指導よろしくお願ひします。



地頭園奈美枝

薬剤科
助手

初めてのことばかりで失敗の日々。早く慣れお役にたてるように頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。



松永 健児

生理検査室
臨床検査技師

この業界に入り、エコーを専門に仕事をしてきました。地域のみなさまの為に質の高い検査を提供できる様に努めていきたいと思ひます。みなさんよろしくお願ひします。



福留 るみ

薬剤科
薬剤師

病院勤務は初めてのため分からない事ばかりでご迷惑をおかけすると思ひますが、早く慣れて患者様をはじめ皆様のお力になれるように努力して参りたいと思ひます。どうかご指導のほどよろしくお願ひ致します。



南 志穂

事務部委託
医事外来

分からない事ばかりでご迷惑ばかりおかけすると思ひますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願ひ致します。



山口真由美

事務部委託
医事外来

初めてのことばかりで不安ですが、自分で選んだ職業なので失敗もあると思ひますが精いっぱい勤めたいと思ひます。よろしくお願ひします。



森田 裕美

外来
看護師

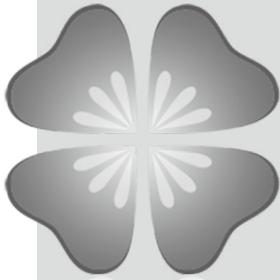
9月から外来に勤務することになりました。経験も全くな分らないことばかりですが、一生懸命頑張っていきたいと思ひますので、ご指導よろしくお願ひします。



中道 奈美

4階東病棟
看護師

今回4階東病棟にて勤務する事になりました。一般病棟経験は初めてであり、不安も大きく迷惑をかける事も多いと思ひますが、精一杯頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。見かけたら気軽に声をかけてください。



思い当たることはありませんか？

「パワハラ セクハラ」

ハラスメント防止セミナー（9月14日）より

パワハラ・セクハラは会社の損失を招く！

周りの志気が下がり、人材を失う。被害者は心の病にかかり損害賠償が発生。

- ・ 刑事責任（傷害・暴行・脅迫・名誉棄損・侮辱・強要）と民事責任（損害賠償）を負う。
- ・ 精神障害による労災認定も増えています。（自殺も含む）
- ・ 相手の人格や尊厳を侵害する言動は暴行罪、脅迫罪に該当します。
いじめ、いやがらせによる民事紛争は21年度35,759件

パワハラの種類

- ①身体的暴力 ②精神的暴力 ③無視する
- ④差別（性的差別、年齢的差別、職種の差別、人格的差別）

考えてみましょう

- ・ 性別、年齢、資格、学歴、委託、派遣、職種によってさげすんだ見方をしていませんか？
- ・ 言葉の暴力はありませんか？（辞めろ、馬鹿か、親の顔が見たい、頭が悪い、給料泥棒、目障り）
- ・ 長時間立たせたままミスを執拗に責めたり、人前でねちねちと繰り返し説教していませんか？
- ・ 相手の言い分を聞こうとせず一方的に押しつけていませんか？

被害者の心理的負荷 対象者の前に出ると萎縮してしまうようになると危険信号

- ・ 周りの人間も「次は自分か」と萎縮して不本意ながら従ってしまう。
「怒り、悲しみ、屈辱感、悔しさ、自責、無力感、気持ちが動転してうまく話せない、眠れない、胃が痛む、胸が締め付けられる、不安」
- ・ 2次被害 「心が弱いから」「加害者はそんな人ではない」「気にしない方がいい」
「抗議したらいいのに」…こんな言葉で被害者はさらに傷つく

相談できる体制を作る

- 相談は秘密厳守
- 企業として聞く環境を作り上げる（人権問題として）

加害者にならないために

- 怒りが沸いてきた時、一呼吸置いて相手の立場を考慮してみる。
- 言い方一つで、パワハラは防げます。



事務部 藤井 豊孝

地域連携パスミーティング



8月5日(木) 昨年暮れより準備を進めていた「急性心筋梗塞地域連携パス キックオフミーティング」が川内看護学校にて開催されました。地域連携パスは平成21年2月より運用の「脳卒中連携パス」に続いて2つめの取り組みとなります。「急性心筋梗塞パス」は現在まだ準備段階ですが、地域の医療機関や院内より80名の参加が有り連携体制の構築やパスの運営方法などが発表されました。

ちゅうりっぷ園運動会



9月11日(土) 晴れ渡る秋空のもと、川内厚生園のグラウンドにて第18回ちゅうりっぷ園運動会が開催されました。園児たちによるかけっこやダンスなどがおこなわれ、プログラムが進むにつれグラウンドには保護者やご家族の皆さんの歓声がひびきわたり楽しい運動会となりました。

NEWS

July - September
2010



今月のスマイル

リハビリレクリエーション



9月22日(水) 回復リハビリ病棟デイルームにてレクリエーションが行われました。レクリエーションは毎月1~2回、患者さんの機能向上、入院によるストレス発散を目的にリハビリセンター・回復リハビリ病棟合同にて行われています。毎回、風船バレーや七夕飾り作りなどを楽しんでいます。今回はちぎり絵にチャレンジしました。初めてちぎり絵に挑戦する方も多く、素晴らしい作品が出来上がり楽しい1日となりました。

救急問題協議会



9月9日(木)、薩摩川内市市民部消防局、警察署、保健所、済生会川内病院、医師会、当院参加のもと救急問題協議会が太陽パレスにて開催されました。この会は毎年、関係機関が薩摩川内市の救急の現状を報告し問題点を協議して改善を図ることを目的に救急の日で開催されています。協議内容として高速道路での事故対応や、夜間小児救急体制、病院での受け入れ体制などが話し合われました。

患者一泊体験



9月18日・25日に新人看護師の“患者一泊入院体験”を行いました。当日は設定された患者になりきり、車イス移動や利き手交換での食事、検査後の安静など体験しました。患者さんの視点から、私たち看護職の態度や言葉の与える影響、患者同士の励まし合いなど、多くの気づきを得ていました。自分たちの今までの態度等を振り返り、学びを実践に活かしてほしいと思います。

肺塞栓研修会



7月30日(金) 肺塞栓防止部会主催による研修会が講師に三重大学大学院の中村真潮先生を迎え当院会議室にて開催されました。研修後の質疑も多くござれ、本院での積極的取り組みと真剣さを再度認識する事が出来ました。本院の取り組みは積極的に行っているため、今後は入院患者に対し、感染対策と同じくらい肺塞栓予防対策も実施しないと「気持ち悪い」となるように自然に実施出来ることを目標に取り組みで欲しいと言うことでした。

外来椅子購入



9月初旬、開院当初から使用していた1階外来フロアの椅子を全て交換しました。新しく導入された椅子は温かみのあるサーモンピンクとなっています。また、患者さんがくつろいでお待ちいただけるよう木製の肘かけがあるものや、ヘッドレストがついたもの、横になる事が出来るものなど何種類かをご用意してあります。診察前の不安なお気持ちが少しでも軽減できるよう願っております。

集団救急事故訓練



9月9日(木) 薩摩川内市消防局消防団、川内医師会合同による集団救急事故訓練が実施されました。今年はパワーランド永利の駐車場で、バスの交通事故が発生したという設定でした。当院からは濱田医師、牧山看護師、松若看護師が参加しトリーアージ区分や応急処置を行いました。処置テント内では濱田医師の迅速な指示に看護師や救急隊などが的確に対応し無事に訓練は終了しました。



日時 11月14日(日)
午前9時より

場所 永利小学校体育館

演芸発表

● 舞踊・ダンス・コーラス 他

作品展示

● 自主学級生の作品 他

販売コーナー

● 永利小PTA・少年団 他

是非、遊びに来てください。

接遇講習会



9月14日当院2階会議室・実習等にてサービス向上委員会主催による「接遇」研修会が開催されました。講師に接遇訓練指導者の古菌麻美さんを迎え、①患者・利用者・ご家族の気持ち、②求められる3つのスキル、③安心感の強化と信頼構築について講習を受けました。職員150名参加のもと約1時間、充実した勉強会となりました。

緊急医療市民講座



9月4日川内アリーナにて医師会と消防局共催による「市民医療講座～300人で心肺蘇生法を～」が開催されました。講座では川上麻酔科医師やインストラクターによる指導のもと人工呼吸、心臓マッサージ、AEDの使用方法など実践を交えて教わりました。特に心臓マッサージは思いのほか体力が必要で30回もするとへとへとに。当院の職員も講師の指導を受けながら真剣に救命法の習得に取り組んでいました。

第10回

身体に優しい健康レシピ



3種きのこ・夕焼け色のスープパスタ

(エネルギー 303kcal たんぱく質 9.9g 塩分 1.8g)



作り方

- ① きのこ類はシイタケ、マッシュルームは食べやすい大きさに切り、軸の部分は小さく切り、しめじは小房に分ける。ベーコン、玉ねぎは1cm角に切っておく。
- ② 鍋にバターを溶かし、玉ねぎ、ベーコンをよく炒め、ワイン、ホールトマトをつぶしながら入れる。
- ③ 水、固形コンソメを加え、沸騰したらきのこ類を加える。
- ④ ふたをして中火で3分ほど煮て、マカロニを加え、煮る。塩・こしょうで味をととのえる。
- ⑤ お皿に盛り付け、みじん切りにしたパセリかピーマンを散らす。お好みで、生クリーム、タバスコをかけてお召上がり下さい。

材料(1人分)

マカロニ	40g
シイタケ	2個
マッシュルーム	2個
しめじ	1/6パック
玉ねぎ	1/6個
ベーコン	10g
バター	3g
赤または白ワイン	大さじ1
ホールトマト	1/3缶
水	160ml
固形コンソメ	2/3個
パセリまたはピーマン	少々
塩・こしょう	少々

●秋の食材

秋もいよいよ本格的になってきましたね。そこで、今回は秋を代表するきのこを使った夕焼け色のスープパスタをご紹介します。

きのこ類は、血中コレステロールを低下させる作用や糖尿病・生活習慣病予防や便秘に効果があります。そして、今いちばん話題になっているのは、きのこ類のもっている成分の一つであるレンチナンという物質です。この物質は抗ガン作用があるということで、積極的に研究が進められています。マカロニを直接スープに入れることで、手間を省きほどよいとろみがつきます。手軽に作れてお腹も心も満たされる、きのこたっぷりのスープパスタを作ってみて下さい。

管理栄養士 二又 朋世

リレーエッセイ

「平穏無事な毎日の秘訣」

地域医療連携室
相談員

末野 登起子

川内に来て、早二年が経った。ちょうど区切りのよい時に原稿の依頼があったので、この川内生活のことを書きたいと思う。

普段あまり運動をしないので、時々早朝ウォーキングをするようにしている。いつもより早く起き、河川敷をテクテク。川内川に昇り始める朝日を写真に撮り、好きな音楽を聴きながら歩くこの時間がすごく気持ちいい。

川内に初めて来た時、「新田神社ってよく聞く神社だけど、どんな神社だろう?」と行き、果てしなく続く階段を目の当たりにした時は、即帰ろうと思った。

「この階段、みんな登っているのかな?」

一礼してから登り始める人を見て以来、なんだか良い事が起りそうと私もそうするようにしている。足を揃えて深々一礼。初めはテンポよく登るのだが、四分の一も行かないうちに足が上がりなくなり、進まず、息も絶え絶え。休憩せずにはいられない。すれちがう地域の方と「キツイですネ」「苦しいですね」と声を掛け合うが、ゼイゼイハアハア言っているのは私だけである。みなさんお元気なあ、毎日続けたら平気になるのかな。今日はどこまでスムーズに登れるかとチャレンジするのだが、毎回ヘトヘトである。

そんなヘトヘト状態で一步一步登りきった後の楽しみがある。おみくじだ。今日は何が出るかな?とその日一日の運勢を占うような気持ちである。「大吉」「吉」「末吉」...「万事うまくいく」「全て好転する」と出た時は、朝からよし!今日は一日いい日になる!と元気が出る。が、「耐えよ」「身を案じよ」と出た時は、気を引き締めて仕事に行こうと気合いが入る。お参りの時のお願ひ事は、毎回同じ事を唱える。

今日も一日平穏無事に過ごせますように。

降りる足はすでにガクガクである。だが、朝から汗をたくさん掻き、全体力を使い果たすのは気持ちがいいものである。苦しいことも楽しく感じさせてくれる場所である。

いつか颯爽に登りきれぬ日を夢見て、川内一のパワースポットにこれからも挑戦し同じお願ひをしていく予定だ。皆さんも是非登ってみて下さいね。(300段はあります)